

第四回

琉球古典音楽の会

野村流古典音楽保存会関東支部二十周年記念



野村流古典音楽保存会関東支部

支部長 宮城秀夫

本日はお忙しいなか、多数ご来場くださりまして誠にありがとうございます。うございませう。

野村流古典音楽保存会関東支部は、故金城芳子先生（初代支部長）・仲宗根善久先生を中心に関東における三線愛好家によって昭和五十三（一九七八）年二月十二日に野村流古典音楽保存会（会員二千名）の支部として結成され、ここに二十周年を迎えることができました。

一口に二十年と申ししましても、幾多の紆余曲折があり、支部運営がたいへん困難を極めたこともございました。その間、関東支部結成前の上原磯子先生、結成時の仲宗根善久先生、指導者不在の折り快くご指導を引き受けてくださいました野村流音楽協会関東支部の仲宗根忠治先生、平光雄先生、また保存会本部の歴代会長の故安富祖竹久先生、大山一雄先生、上地源照先生、現会長の玉城政文先生、琉球箏曲保存会会長の宮城文先生、前田千加子先生はじめ、多くの先生方にご尽力いただきましたことに、この場をお借りして深く感謝申し上げます。

結成当時の会員はほとんどが沖縄出身者でありましたが、今で

は半数以上が本土出身であり、沖縄の歌三線の広がりを感じます。本日のプログラムにおきましても、独唱曲のうち四曲を本土出身者が務めますので、どうぞご期待ください。

また本日の公演のため、沖縄本部より会長はじめ大勢の師範、教師の先生方が賛助出演してくださいました。なかでも、正装によります茶屋節の荘厳なる響きは圧巻であり、私も支部会員も楽しみにしております。皆様もぜひお楽しみください。

第三回発表会開催より五年の月日が経過いたしました。沖縄の歌三線は一朝一夕には成果が出ないもどかしさを感じます。私もまだまだ未熟ではございますが、本日の舞台を一生懸命務めさせていただきます。どうか最後までおつき合ってくださいまして、忌憚のないご批評を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

最後に、後援を引き受けていただきご祝辞まで頂戴しました東京沖縄県人会と竹田定雄会長、賛助出演くださいました舞踊の先生方、寄付をお寄せくださいました方々、ならびに裏方を務めていただいた舞台監督、音響、照明などスタッフの皆さん、等々、本公演の成功のためにご協力くださいました皆様方に、関東支部を代表して厚くお礼申し上げます。

私も支部会員はこれからもよりいっそう古典音楽の研鑽に努め、また関東における普及・発展に励みたいと存じます。今後とも皆様のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。ごあいさついたします。



祝辞

東京沖縄県人会

会長 竹田定雄

このたび、野村流古典音楽保存会の関東支部創立二十周年を記念して発表会を催されること、心からお喜び、お祝い申し上げます。

沖縄の“さんしん”は十四世紀末頃に中国より渡来し、おもろ音揚（赤犬子を始祖として、琉歌の時代に入り、不世出の楽聖湛水親方により古典音楽の基礎が作られ、その後数多くの高弟たちを経て、野村安趙に至り、声楽譜付工工四が編集されて野村流奏法が確立され、一般に普及して今日の隆盛に至ったと承っております。本日はその野村流古典音楽の粋を堪能させていただき幸せに浴するものと思えます。

私は干瀬節から子持節そして述懐に至る一連の哀愁切々たる二揚曲。特に述懐の「きやならはも ままよ……」と恋の深山路に踏み迷う絶唱を聞くととき、心ふるえる思いがいたします。

古来、琉球の人々はいろいろな苦難の中にありながらも、“さんしん”の中に人の生命の尊さと情念の深さ、そして神への祈りを凝縮して歌い上げてまいりました。私たちはこのすばらしい歴史を持ったことを誇りとします。

本日の公演のご盛会と野村流古典音楽保存会関東支部の発展、会員の皆様のますますのご研鑽を祈念し、お祝いの言葉といたします。



祝辞

野村流古典音楽保存会

会長 玉城政文

野村流古典音楽保存会関東支部が創設二十周年の節目を迎え、記念公演が開催されるに当たり、一言お祝いのごあいさつを申し上げます。

今年はこの慶事に際し、本部会員九十名余が、今から約四百年前の「江戸上り」の道程に当たる各史蹟を尋ねての旅を終えて、この公演に参加することになりました。

顧みますと、昭和五十三年当時、金城芳子初代支部長が東奔西走、会員をまとめ二十名余で支部結成にまで漕ぎ着けていただきましたが、今日では数ヶ所の研究所も開設され、大きな団体へと発展されたことは、誠に喜ばしい限りであります。

この二十年の歴史は、金城支部長の足跡を基に歴代支部長をはじめ、役員の方々のたゆまざるご努力と会員各位のご協力の賜物でありまして、心からその労をねぎらうとともに敬意を表するものであります。

十年一日と申しますが、二十年を重ねたという事実は、そのことだけでもいかに会員が堅く結ばれ、且つ各種会合をはじめ、毎年数回に亘りおさらい会を開催されることによって、力強い団体として活動をしておられるかを物語っておりますことを、心強く感ずるものであります。

郷里から遠く離れた土地で生活しておられる皆さんにとって郷愁と共に郷土の音楽に親しむ心境は、郷里にいる私ども以上に愛着を感じておられることでありましょう。そのことが今や関東に博い地域の中で数ヶ所の研究所が誕生し、それぞれが点となり面となって三線文化の普及に大きく貢献しております。

近年は、特に県出身者に限らず他の府県の方々にも沖縄の三線文化に親しみを感じ三線文化に触れる方が多くなりましたことは、明るい話題として高く評価されるものです。

どうぞ、この二十周年の節目を契機として、会員の皆様が更に団結を強固なものにしていただき、二十一世紀へ向けて邁進されることを期待するものであります。

終わりに、会員各位のますますのご精進と関東支部の限りないご発展をお祈りいたしまして、ごあいさつといたします。

プログラム

第1部

- 1 斉唱 かぎやで風節・恩納節・辺野喜節
- 2 独唱 伊野波節
- 3 斉唱 遊び諸屯節・しよんがね節
- 4 独唱 干瀬節 子持節 散山節
- 5 独唱 仲風節 述懐節
- 6 舞踊 磨踊(ぜい)
- 7 舞踊 花風

休憩(10分間)

第2部

- 8 斉唱 ぢゃんな節・大兼久節
- 9 斉唱 茶屋節・すき節
- 10 舞踊 久高節
- 11 舞踊 汀間当
- 12 独唱 仲間節 赤田風節
- 13 独唱 下出し仲風節 下出し述懐節
- 14 独唱 本赤田花風節
- 15 独唱 本花風節
- 16 舞踊 高平良萬歳
- 17 舞踊 加那よ一天川

かぎやで風節

恩納節

辺野喜節

かぎやで風節

今日ぬ誇らしやや なをにじやな喩ている
蕾でい居る花ぬ 露ちやたぐとう

(今日の思いがけない喜びをどのように表現
しようか、まるで枯れかかった蕾が恵みの
雨を受けて元気よく咲開いたようだ)

恩納節

恩納松下に 禁止ぬ牌ぬ立ちゆすい
恋忍ぶまでいぬ 禁止や無さみ

(恩納番所の立て札にあれこれと禁止事項が
書かれているが、気落ちすることはない。
恋をするなどは、いくら野暮な役人でも書
けやしないから。)

辺野喜節

伊集ぬ木ぬ花や あん清らさ咲ちゆい
我身ん伊集やとて 真白咲かな

(伊集の花はどうしてあんなにも美しく咲い
ているのだろう。私も伊集の花に劣らぬよ
うに、真っ白に咲いてみたい。)

【歌・三線】

仲宗根忠栄	東 嵩純	宮城秀夫	久田友昭	水谷亮介
大城貞吉	伊礼保信	陸 明美	小林一恵	田中直樹
嶋崎香理	橋本亮幸	牧野晃明	佐藤正男	菅野裕子
神谷清輝	川尻 明	吉田 努	柏原雄人	設楽由美子
野村香司	田中香織	陸 慎也	笠原 梢	砂川貴之
荒井つや子	江川吉晴	大城朝夫	謝花茂幸	片倉美佐子
知念房子	附田斉子	千葉志津子	仲間 功	大城良光
知花英樹	宮里哲朗	我如古弘子	高江洲節子	末吉カマド
真栄城久子	諸味正子			

【琴】

照屋芳子	北村澄子	川崎育恵	神谷恵子	土屋富美
国吉裕子	染井ハル子	具志堅蓉子		

【笛】

中村昌成

【胡弓】

屋嘉比 清

【太鼓】

平良律子

2 古典音楽独唱

伊野波節

伊野波ぬ石くびり 無蔵連りてい登る
なふいん石くびり 遠さわあらな

(伊野波の石ころだらけの険しい道も、恋人を送りながら登るときは、もつとこの道が遠くまで続いていたらと願ってしま
うのだ。)

【歌・三線】

柏原雄人

砂川貴之

吉田 努

【琴】

土屋富美

3 古典音楽斉唱

遊び諸屯節・しよんがね節

遊び諸屯節

でちやよ押連れてい 眺みやい遊しは
今日や名に立ちうる 十五夜でむぬ
(二緒に連れ立って月を眺めて楽しみま
よう。今夜はせつかくの十五夜なので
から。)

しよんがね節

月も眺みたい でちやよ立ち戻ら
里や我が宿に 待ちゆらでむぬ
(月も充分眺めました。さあ帰りましょう。
私の彼が家で待っているものですから。)

【歌・三線】

陸 明美

小林一恵

嶋崎香理

菅野裕子

田中香織

菅原 梢

荒井つや子

【琴】

照屋芳子

土屋富美

4 古典音楽独唱

千瀬節

里とめばのよで いやで言ゆみおやど
冬ぬ夜のよすが 互に語やべら
(恋い焦がれるあなたと知れば、どうして
宿泊をおことわりできるでしょうか。お互
いに冬の夜もすがら語り合いました。)

【歌・三線】
田中直樹

【琴】
照屋芳子

子持節

誰ようらめとて 泣きゆが浜千鳥
逢わぬつれなさや わ身もともに
(浜千鳥よ、誰を恨みながらそんな悲しい
声で鳴いているのか。思う人に会えぬ寂
しさ、辛さは我が身も同様だ。)

【歌・三線】
伊礼保信

【琴】
土屋富美

散山節

真かや実か 我肝ほればれと
寝覚めおどろきの 夢の心地
(まことだろうか、真実だろうか、心はた
だ茫然と、まるで悪夢から覚めたような
心地だ)

【歌・三線】
牧野晃明

【琴】
北村澄子

5 古典音楽独唱

仲風節

誠一つの 浮世さめ
のよでい言葉の あわぬおきゆが
(誠が最も大切な世の中である。誠を心が
けていれば、どうして言葉の行き違いが
あろうか。)

【歌・三線】
大城貞吉

【琴】
神谷恵子

迷懐節

拝で懐かしや 先ずせめてやすが
別て面影のたたばきやしゆが
(お会いできて、寂しさも慰められました
が、また別れた後、面影がちらついたら
どうしましょう。)

【歌・三線】
橋本亮幸

【琴】
川崎育恵

6 舞踊

麾踊

渡りざう
瀧落菅攪
揚作田節
ゆたかなる御代のしるしあらわれて
雨露のめぐみときもたがぬ

*麾とは指揮棒のこと

【踊る人】

藤原悦子

【歌・三線】

仲宗根忠栄
水谷亮介
大城貞吉

【琴】

神谷恵子

【笛】

中村昌成

【胡弓】

屋嘉比 清

【太鼓】

平良律子

7 舞踊

花風

花風節
三重城に登て 手巾持ち上げれば
早船のなれや 一目ど見ゆる
下出し述懐節
朝夕さもお側 拝みなりそめの
里や旅しめて いきやす待ちゆが

【踊る人】

大田文代

【歌・三線】

仲宗根忠栄
水谷亮介
野村香司

【琴】

神谷恵子

【笛】

中村昌成

【胡弓】

屋嘉比 清

【太鼓】

平良律子

ぢゃんな節
大兼久節

ぢゃんな節

昔ごとやすが なままでも肝に
忘らぬものや あれが情け
(遠い昔のことだが、別れたあの人忘れ
られない。あの人の優しさを思うと心が
切なくなる。)

大兼久節

名護の大兼久 馬走らちいしよしゃ
舟走らちいしよしゃ 我浦どまり
(名護の大兼久は広々としていて、馬を走
らせると気持ちがいい。また舟を走らせ
ても楽しい海である。)

【歌・三線】

仲宗根忠栄	宮城秀夫	久田友昭	水谷亮介	大城貞吉
伊礼保信	小林一恵	田中直樹	嶋崎香理	橋本亮幸
牧野晃明	川尻明	吉田努	柏原雄人	神谷清輝
野村香司	大城稔	玉城光子	富名腰義庫	東江末子
譜久原朝次郎	新垣よし	宮平春子	城間春子	与那城彦興
大城賢雄	當間清光	金城治雄	翁長安子	花城千枝子
比嘉八重子	上原トミ	堀川澄子	友寄とみ子	古波蔵みね子
喜瀬乗賢	知念真栄	親富祖光子	真境名キヨ	翁長兼三郎
翁長孝明	嘉味田朝和	松田邦昭	仲地孝子	

【琴】

照屋芳子	北村澄子	川崎育恵	神谷恵子	土屋富美
国吉裕子	山城芳江	金城文子	染井ハル子	具志堅蓉子

【笛】

中村昌成

【胡弓】

屋嘉比 清

茶屋節
すき節

茶屋節

拝でのかれらぬ 首里天加那志
遊でのかれらぬ 御茶屋御殿

(国王の尊顔を拝していると、いつまでも御前を去りがたく、お茶などの催しにふけつていと、いつまでも居たくて去りがたい。)

すき節

節々がなりば 木草だも知ゆり
人にうまれとて 我親知らぬ
(季節を迎えれば、草木でさえ芽も出し花も咲かすのだ。人に生まれたのだから、自分の親もとをたまには訪ねなさいよ。)

【歌・三線】

玉城政文	安田慶善	具志初子	譜久原朝敏	大城喜邦
金城タケ子	知花包喜	手登根順一	伊波盛市	国吉正康
黒島 淳	仲宗根善久	山内秀吉	平良シゲ	宇根良吉
宮城信夫	上原武彦	仲村春善	高江洲昌弘	一橋恒夫
伊藝岩雄	古波蔵惟好	友利安德	仲栄真盛吉	田場盛幸
大城栄幸	輿儀正俊	赤嶺ミヨ	山城親健	中川利子
喜瀬ノブ	池原正夫	伊禮萬津夫	上原トミ子	糸数春美
大城良仁	松本真清	上地弘子		

【琴】

桃原キヨ子	久田ヨシ子	国吉清子	伊良皆順子	上條三枝子
美里登喜子				

【笛】

中村昌成

【胡弓】

屋嘉比 清

久高節

久高節

ヘイヤーヨー 久高板舟乗りならいて
 マーラン高舟 舟ぬどうんぐりしやぬ
 乗りぬなりぬ
 ヤリク ヤリクダカ ヒチャビンドヌチ
 ヤビンドウ ウヤンマクンクルヤーカラ
 チャーカラチャーカラ ヒヤムイシャー
 かなし里前の乗る舟や 渡中出ぢやしば
 風ぬ押すままヘイヘイくらくら乗りなら
 し

【踊る人】

吉浜久枝

【歌・三線】

宮城秀夫

橋本亮幸

牧野晃明

柏原雄人

【琴】

北村澄子

【笛】

中村昌成

【胡弓】

屋嘉比 清

【太鼓】

平良律子

海上節
 嘉利吉ぬ今日出でい 午未ぬ生り風
 カイシヨウウダヤカ イチロヘイアン
 カリユシ カリユシ
 絹ぬ上から嘉利吉 布の上から嘉利吉
 今日の日のにしや 黄金日のにしや

汀間当

宮古根

初みてどやしが 情まで呉てさ
 かなし思無蔵や 夫や居らに
 夫ぬ居てからや ぬゆで思里に
 情までかきが 思てたぼり
 汀間当節
 汀間と安部境のかぬしちやの浜下りて
 汀間の丸目加那と請人神谷と恋の話
 サーふんぬいふんぬい真実かや
 神谷がい言葉や何で言たが 明けて四五
 六月よはすが来んどうつとめて待っちょ
 うれ

【踊る人】

関りえ子

【歌・三線】

宮城秀夫

橋本亮幸

牧野晃明

【琴】

川崎育恵

【笛】

中村昌成

【胡弓】

屋嘉比 清

【太鼓】

平良律子

月の夜も夜い闇の夜も夜いヨー 里が参
 る夜ど我夜さらめ
 月の夜になればわん忍でいもれヨー 闇
 の夜になればうんじゅ忍ば
 指輪の形見さす間の形見ヨー 頭毛の契
 り幾世までも
 里やうきんずの溜り水心ヨー かねれは
 も余所のゆくち行ちゆさ
 行けんでや言すが袖や取て引きゆいよー
 まこと行けんでの肝やあらぬ

仲間節

我が身つで見ちど 与所の上や知ゆる
無理するな浮世 情ばかり
(わが身をつねってみて初めて他人の身の
上も知られるものだ。だからあまり無理
を言っては行けない。この世を渡るには
情が大切だから。)

【歌・三線】
久田友昭

【琴】
神谷恵子

下出し仲風節

結ばらぬ 片糸の
逢わぬ恨みとて つもる月日
(結ばれぬ片糸のように、逢えない恨みを
抱きながら、いたずらに月日を重ねてい
くばかりである。)

【歌・三線】
宮城秀夫

【琴】
照屋芳子

赤田風節

赤田門や 閉まるとも
恋し見物門や 閉まって呉るな
(赤田門は閉まってもかまわないが、恋し
い者に会うための見物門は閉まってくれ
るなよ。)

【歌・三線】
水谷亮介

【琴】
川崎育恵

下出し述懐節

いな昔なるい あはれ語らたる
馴れしい言葉の くだぬうちに
(あなたと別れたのは、もうそんなに昔の
ことなのか。また逢って語り合いたいも
のだ。)

【歌・三線】
仲宗根忠栄

【琴】
北村澄子

14 古典音楽独唱

本赤田花風節

花と露の縁 あたらませ
我身のやや毎に お側添やい居らめ
(花と露がいつも新たな縁があるように、私もいつもあなたのお側に寄り添いたいものだ。)

【歌・三線】

仲宗根善久

【琴】

桃原キヨ子

15 古典音楽独唱

本花風節

三重城登て うち招く扇
又ん巡り来て 結ぶ御縁
(三重城に登り、旅立つ人に向かって招くように振る扇には、再び会えることを願う祈りが込められている。)

【歌・三線】

玉城政文

【琴】

久田ヨシ子

高平良萬歳

道行口説

親の敵を討たんでやり 萬歳姿に打ち
 やつれ 棒と杖とに太刀仕込で
 編笠深く顔隠ち 忍び忍びに立出でて
 村々里々越えくれば
 平良や忍ぶ敵の門 兄弟尻目に見過し
 て 後の道に回り来て
 行く末吉の御神に 祈る心は我が敵に
 急ぎ引合わせ賜れてやい
 登て社壇に願立てて 真南に向ひて眺
 むれば 四方の景色の面白や
 慶伊と慶良間の渡中には 海人の釣舟
 浮きつれて 沖の鷗と見粉ふや それ
 から下り下り来て (エイ)
 御寺御門に立寄やり 休む姿や他所知
 らぬ
萬歳かふす節
 萬歳かふすや 行脚いかふすや 二月
 お穂立て 穂祭や
 何の日取りや よい日取り 米や重さ
 り 石や軽さり
 天より下りの 布織上手の 綾織男の
 錦の金襴 唐芋の金襴
 男の長者の 荷馬の長者の 荷負い祝
 はれて 行脚祝はれて
 行脚やんざと 馬乗て通れば 一段と
 誉められた
 今日も明日も御祝事よ

おほんしやり節

隣の耳切れ 鼻切り 跛引き猫が 目
 剥げ 首白鼠に 荒頸喰われて あべ
 らしをらばじ 飛のがじ思入や 里一
 人だう (エー) 里が物言いぐらしゃ
 何にたてるがエー ふだ拔ぢやげなや
さいんする節
 京の小太郎が作たんばい 尻ほげ破れ
 手籠尾すげて
 板切目貫ち乗りきたる みいははと
 しいつやうんつやうん
 やんざいこふすや馬舞者 がいじ舞う
 た獅子舞うた
 かにある物御目掛けたみ 可笑しやば
 かり
 (シタリガ ツヤウン ツヤウン ヤア
 ツヤウン ツヤウン)

【踊る人】

宮城洋子

【歌・三線】

宮城秀夫

橋本亮幸

牧野晃明

【琴】

川崎育恵

【笛】

中村昌成

【胡弓】

屋嘉比 清

【太鼓】

平良律子

加那よー天川

加那よー節

カナヨー面影の立てばヨーカナヨー
宿に居られらぬ

ハルヨーンゾヨーカナヨーシーシ

できゃよ押し連れて 遊で忘ら

カナヨー貫木屋のあしやげ 手巾布立
てて

我が思る里に なさけ呉らな

カナヨーなさけ呉るばかり 手巾呉て

何しゆが

がまくくん締める めんさ呉らな

カナヨー遊で忘ららぬ 踊て忘ららぬ

うみまさて行きゆさ あれが情

天川節

天川の池や

千尋も立ちゆら

おれよりも深く

思てたばうれ

【踊る人】

川田功子・江籠佐千代

【歌・三線】

仲宗根忠栄

水谷亮介

野村香司

【琴】

北村澄子

【笛】

中村昌成

【胡弓】

屋嘉比 清

【太鼓】

平良律子

【出演者】

■野村流古典音楽保存会関東支部■

仲宗根忠栄	東 嵩純	宮城秀夫	久田友昭	水谷亮介
大城貞吉	伊礼保信	陸 明美	小林一恵	田中直樹
嶋崎香理	橋本亮幸	牧野晃明	佐藤正男	菅野裕子
神谷清輝	川尻 明	吉田 努	柏原雄人	設楽由美子
野村香司	田中香織	陸 慎也	笠原 梢	砂川貴之
荒井つや子	江川吉晴	大城朝夫	謝花茂幸	片倉美佐子
知念房子	附田斉子	千葉志津子	仲間 功	
照屋芳子	北村澄子	川崎育恵	神谷恵子	土屋富美

賛助出演

■野村流古典音楽保存会■

玉城政文	安田慶善	屋嘉比 清	具志初子	譜久原朝敏
大城喜邦	金城タケ子	知花包喜	手登根順一	伊波盛市
国吉正康	黒島 淳	仲宗根善久	山内秀吉	平良シゲ
宇根良吉	宮城信夫	上原武彦	仲村春善	高江洲昌弘
一橋恒夫	伊藝岩雄	古波蔵惟好	友利安德	仲栄真盛吉
田場盛幸	大城栄幸	輿儀正俊	赤嶺ミヨ	山城親健
中川利子	喜瀬ノブ	池原正夫	伊禮萬津夫	上原トミ子
糸数春美	大城良仁	松本真清	上地弘子	富名腰義庫
東江末子	譜久原朝次郎	新垣よし	宮平春子	城間春子
与那城彦興	大城賢雄	當間清光	金城治雄	翁長安子
花城千枝子	比嘉八重子	上原トミ	堀川澄子	友寄とみ子

古波蔵みね子 喜瀬乗賢 知念真栄 親富祖光子 真境名キヨ
 翁長兼三郎 翁長孝明 嘉味田朝和 松田邦昭 仲地孝子
 大城良光 知花英樹 宮里哲朗 我如古弘子 高江洲節子
 末吉カマド 真栄城久子 諸味正子 中村昌成

■琉球箏曲保存会■

桃原キヨ子 久田ヨシ子 国吉清子 伊良皆順子 上條三枝子
 美里登喜子 国吉裕子 山城芳江 金城文子 染井ハル子
 具志堅蓉子

■光史流太鼓保存会■

平良律子

■冠船流琉球舞踊・川田功子の会■

川田功子 江籠佐千代

■真踊流・藤原悦子琉舞道場■

藤原悦子 大田文代

■吉浜久枝八重山民俗舞踊研究所■

吉浜久枝

■玉城流七扇会関東支部・関りえ子琉球舞踊研究所■

関りえ子

■宮城洋子琉球舞踊研究所■

宮城洋子

【スタッフ】
 企画 野村流古典音楽保存会関東支部
 構成 宮城秀夫
 舞台監督 水野融
 照明 村山寛和
 音響 古川学
 司会 津波古勝子
 表紙題字 川崎育恵
 編集 牧野晃明
 印刷 (有)エクスム・アート

野村流古典音楽保存会関東支部

創立二十周年記念公演

第四回 琉球古典音楽の会

日時 一九九八年四月一二日(日)

午後二時開演

会場 なかのゼロ大ホール

主催 野村流古典音楽保存会関東支部

後援 東京沖縄県人会

第四回 琉球古典音楽の会

実行委員会

宮城秀夫 久田友昭 北村澄子

水谷亮介 大城貞吉 川崎育恵

神谷恵子 陸明美 伊礼保信

田中直樹 小林一恵 牧野晃明

野村流古典音楽保存会

	副会長	会長		相談役			顧問
"	花譜久原	玉城	"	仲本朝勇	"	"	知念松盛
"	城原朝敏	城政文	"	上地源照	"	"	大山一雄
"	康榮	城政文	"	玉栄昌治	"	"	渡久地政一
"			"	城間徳太郎	"	"	

"	"	"	"	"	"	"	"	"	評議員	"	"	"	"	"	理事			
喜瀨慎仁	岸本善吉	恩河忠哲	宇根良吉	金良宗吉	金城幸雄	上間精光	嘉数世勳	知花清秀	山里幸政	大城喜邦	上原磯子	具志初子	手登根順一	知花包喜	新里文英	下田清幸	屋嘉比清	安田慶善

書記	事務局長	會計		監査役													評議員	
大城良仁	伊藝岩雄	国吉正康		照屋真一						糸数善昭	小橋川善弘	金城夕ケ子	富名腰義春	儀間常善	安室孝雄	上原武彦	宮城信夫	山内秀吉

野村流古典音楽保存会関東支部

仲宗根忠榮研究所



師範 仲宗根 忠 榮

教師 水谷亮介
優秀賞 大城貞吉
新人賞 伊礼保信
〃 菅野裕子
〃 陸 明美
〃 神谷清輝
〃 野村香司
〃 的場光晴
田中香織
陸 慎也
笠原 梢
荒井つや子

謝花茂幸
片倉美佐子
附田斉子
古川悦枝
和泉照美
村谷和絵
千葉志津子
仲間 功
金山善一
実島ゆかり
島 元三
茂手木淳

三味線 初心者大歓迎

〒121-0064 東京都足立区保木間 2-20-6
TEL 03-3883-5596 / FAX 03-3883-5566
〈稽古日 / 月曜日を除く、午後2時～夜10時〉

E^エC^コOカード 会員募集中!

- 当社主催旅行の割引
- ハイビー沖縄航空券の割引
- 海外旅行の割引
- ご来店の手間をかけないサインレス決済システム
- ご利用額に応じてのポイントプレミアム制度 など

特典もりだくさん!



・沖縄への旅・海外の旅・国内の旅・募集旅行企画・社員旅行企画
お気軽にご相談下さい

沖縄ツアーリスト

OKINAWA TOURIST SERVICE

◆お申し込み、お問い合わせは各店へ
新橋/03 (3573) 4211 銀座/03 (3562) 6455

銀座案内所は日曜祭日も営業

おかげさまで40年 THANK YOU

沖縄ツアーリスト



地域に根ざし

世界にはばたく



旅の心を大切に...



株式
会社

エアークン

AIR OKINAWA CO., INC.

運輸大臣登録一般旅行業第413号・日本旅行業協会正会員

東京支店 〒160 東京都新宿区新宿1-13-1
TEL.(03) 3341-4701 FAX.(03) 3341-4707

ツアーセンター 〒900 那覇市久茂地1-1-1
TEL.(098) 868-1414 FAX.(098) 866-7662

東京久米島郷友会

祝 野村流古典音楽保存会関東支部 20周年記念発表会

同	同	同	相談役	同	監査役	婦人部長	青年部長	渉外部長	会計部長	事務局長	同	同	副会長	会長	
外役員一同	仲宗根勇雄	江島良助	平安盛	上江仁憲	嘉手刈昇	高江政文	中村サチ子	古堅宗啓	友寄宏	嶋崎初枝	仲宗根修	江洲良一	丸川道枝	仲間一雅	大城盛有

“お客様へより近く”

 **沖縄銀行** 東京支店

支店長 大城 稔

〒103 東京都中央区日本橋本町4-8-14

TEL 03-3270-5121 FAX 03-3270-8396

官公庁指名建設業者
建築工事・設計・施工



大城建設株式会社

一級建築士 代表取締役 **大城朝夫**

板橋区志村1-20-6

☎ 03-3965-3002



〒171 東京都豊島区池袋2-45-1 アークシティ池袋B1

池袋駅西口(北口側)ときわ通り

TEL 03-3971-5061 (代表) 03-5396-4866



2号店
新規オープン!

沖縄そば・チャンプルーの店 やんぼる

新宿区歌舞伎町1-19-2新宿東宝会館B1 電話03-3232-6550

お食事

沖縄そば各種

ラフティー丼セット	¥930
ゴーヤチャンプルー定食	¥980
麩チャンプルー定食	¥880
ナベラー定食	¥980

一品料理

チャンプルー

ゴーヤチャンプルー	¥650
麩チャンプルー	¥500
ソーめんチャンプルー	¥600
島菜チャンプルー	¥500
豆腐チャンプルー	¥600
ポーク玉子	¥500

煮物

ラフティー	¥600
ソーキ	¥600
昆布イリチー	¥450
足ていびち	¥600
へちまの味噌煮	¥600

汁もの

ソーキ汁	¥600
足ていびち	¥600
中味の吸物	¥500
よもぎジュース	
(やわらか)	¥500
(かため)	¥500

酢のもの

ミミガーサシミ	¥400
もずく酢のもの	¥300

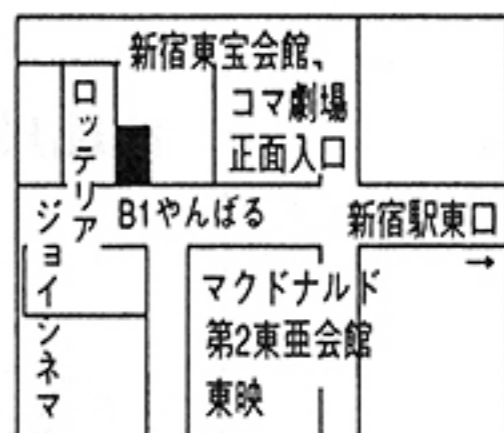
その他

ソーマミ豆腐	¥400
豆腐餅	¥300
スク豆腐	¥550

お飲みもの

泡盛一合30°	¥650
古酒一合43°	¥850
古酒28°720ml	¥2,900
泡盛25°720ml	¥2,400

オリオンビール中生	¥550
オリオン中ビン	¥550
オリオン缶	¥400
ゴーヤジュース	¥300
シークワサージュース	¥250
ルートビア	¥300



※座敷にて20名までの会食ができます。

あだん

営業時間 PM6:00~12:00

定休日 火曜日

都営新宿線大島駅下車 A5 出口

〒136 東京都江東区大島 5-35-12

TEL 03-3684-2766 FAX 03-3637-4608

琉球箏曲興陽会関東支部

教師 比嘉ナツ子

初心者歓迎 稽古日は相談いたします。

連絡先 「あだん」内

TEL 03-3684-2766 (夜) FAX 03-3637-4608 (昼)

島唄と島料理の店

島の島人

瀬川 新一郎

沖縄民謡島謡サークル 毎日曜日午後2時より

指導 運天敏彦

新宿区新宿2-13-7 新宿ハイツ 1F

☎03(3350)5098

沖縄の香りがいっぱい 沖縄料理のメッカ

かりゆし

琉球民謡の調べと沖縄料理、さらに琉球舞踊と欲張って
リラックスできる憩いの場です。家庭的なムードも満点。
舞踊ステージは毎晩 8:30 からの 30 分間。

その後はお客様も舞台上に上がって、にぎやかで開放的な
カチャーシーでストレスも吹き飛びます。



従業員一同お待ちしております。

〒160 新宿区新宿2-5-12ラシントンパレス 2F

TEL.(03) 3341 - 3179

沖縄料理

ぐすく

城

店長 宮城俊司

営業時間 PM6:00~AM5:00

定休日 毎週月曜日

〒160 東京都新宿区新宿 3-8-5 中川ビル 2F

TEL 03-5269-2269



玉城流 康子琉舞の会



金城康子琉舞道場

会主 金城康子

〒557-0051 大阪市西成区橘3-10-9

TEL06-657-2045

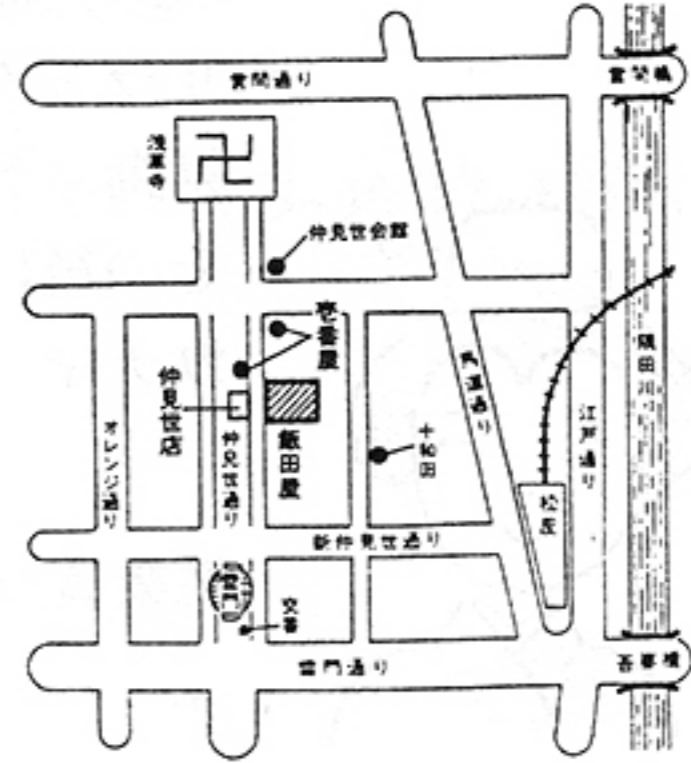
東京道場稽古場

飯田屋

東京都台東区浅草1-31-1

TEL 03-3841-9141

稽古日 毎月第2土曜・日曜のみ



交通
東武線 浅草より徒歩3分
地下鉄銀座線 浅草より徒歩2分
都営地下鉄 浅草線 浅草より徒歩5分



琉球太鼓「乾流太鼓段の会」

家元 宇根伸三郎

「見る太鼓・聞く太鼓」太鼓の神髄をあなたも一緒に習ってみませんか

東京支部・研究生募集中

連絡先 新城久美 電話 03-3360-7809

関りえ子 電話 044-966-8728

指導者

師範 知名文子 電話 098-897-4016

稽古場 東京都新宿区歌舞伎町 胡蝶蘭 電話 03-3209-1680

稽古日 毎月第二(土・日・月) 午後2時～5時

詳しくは連絡先へお電話下さい。



真踊流

藤原悦子琉舞道場

埼玉県熊谷市肥塚1210-9 ☎ 0485-24-4969



玉城流七扇会関東支部

関りえ子琉舞研究所

教師 関りえ子

〒215-0012 神奈川県川崎市麻生区東百合丘 2-20-15

TEL 044-966-8728 FAX 044-966-8298

稽古日 狛江 (毎木) / 向ヶ丘遊園 (毎火) / 新百合ヶ丘 (毎日)

*他、個人指導あります

吉浜久枝八重山民俗舞踊研究所

〒257-0032 神奈川県秦野市河原町1-23
TEL0463-81-4663

玉城流^{きらせん}焔扇会東京支部

新城久美琉舞道場

おどりの好きな方、お気軽にご見学下さい。いつでも入会できます。

大島教室 (火曜日) 東京都江東区大島5-35-12 「あだん」 TEL03-3684-2766

下赤塚教室 (水曜日) 東京都板橋区下赤塚7-7-12 TEL03-3977-3348

大久保教室 (土曜日午後2時より) 東京都新宿区百人町2-25-8 大久保ハウス506号
TEL03-3360-7809



沖縄料理 あしびな

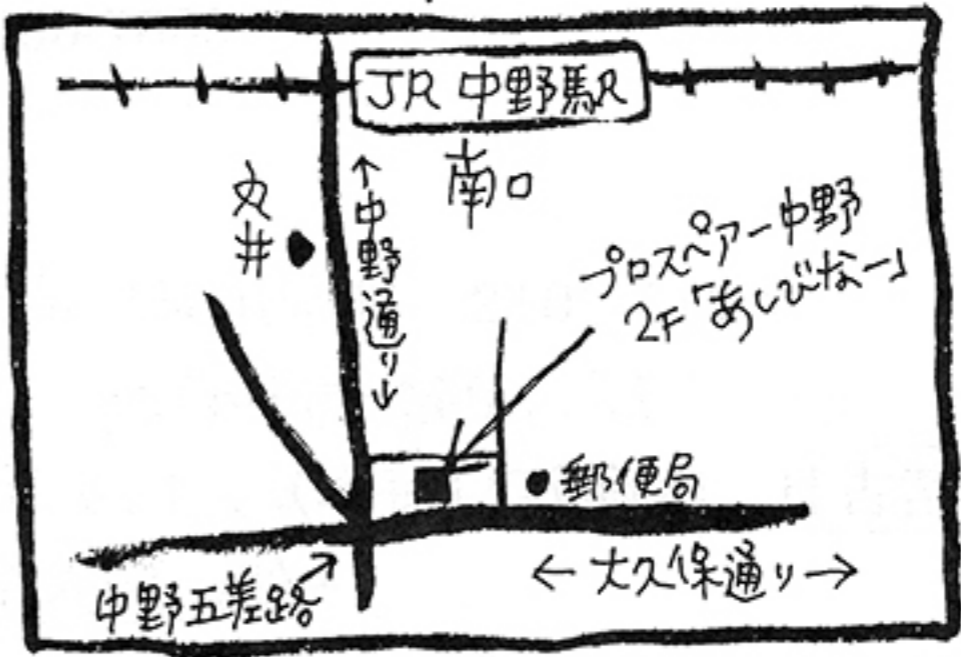
03-3229-2044
営業時間 18:00~24:00

中野区中野2-28-1
プロスペア-中野2F
(JR中野駅南口徒歩5分)



あしびなからいっしょに食べよう
4/22(水) まよなかしんや
4/26(日) 安里勇
5/17(日) 原人組
料理や酒はぬちぐすい
ちまぐすい
ちまぐすい
ちまぐすい

チャーシュー
2000円
(1ドリンク付)
20:00~22:00



泳ぎは苦手。でもダイビングしてます！

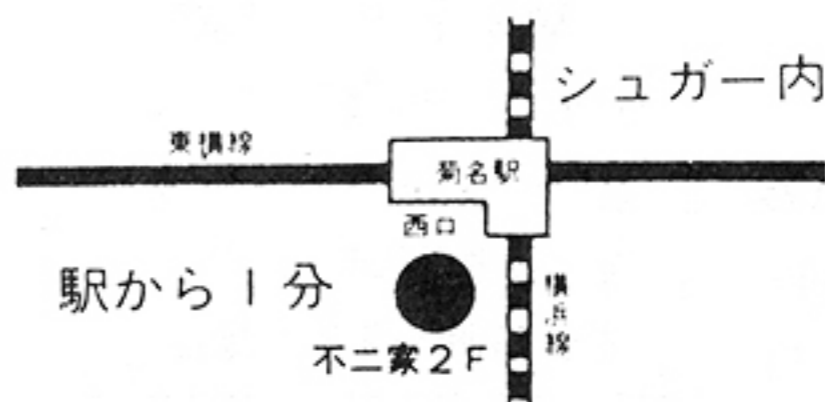
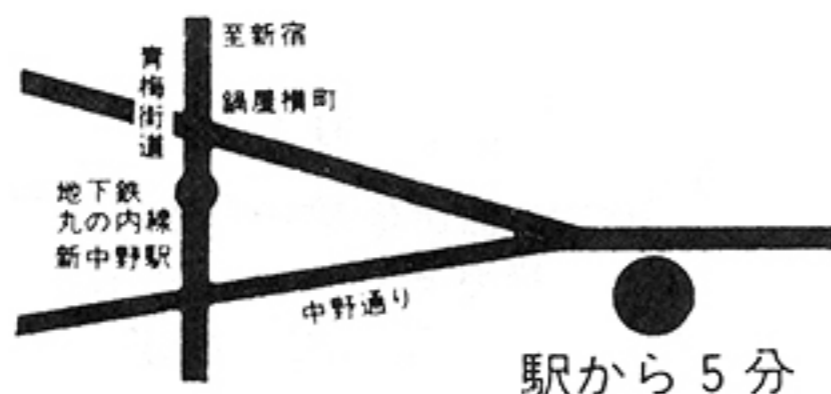
日本ダイビングスクール協会公認スクール



DIVING SCHOOL & PRO SHOP
SEA ROMAN

●中野店 03-3380-0148(代)
〒164 中野区本町5-37-11

●横浜店 045-402-6823
〒222 横浜市港北区篠原北2-2-1

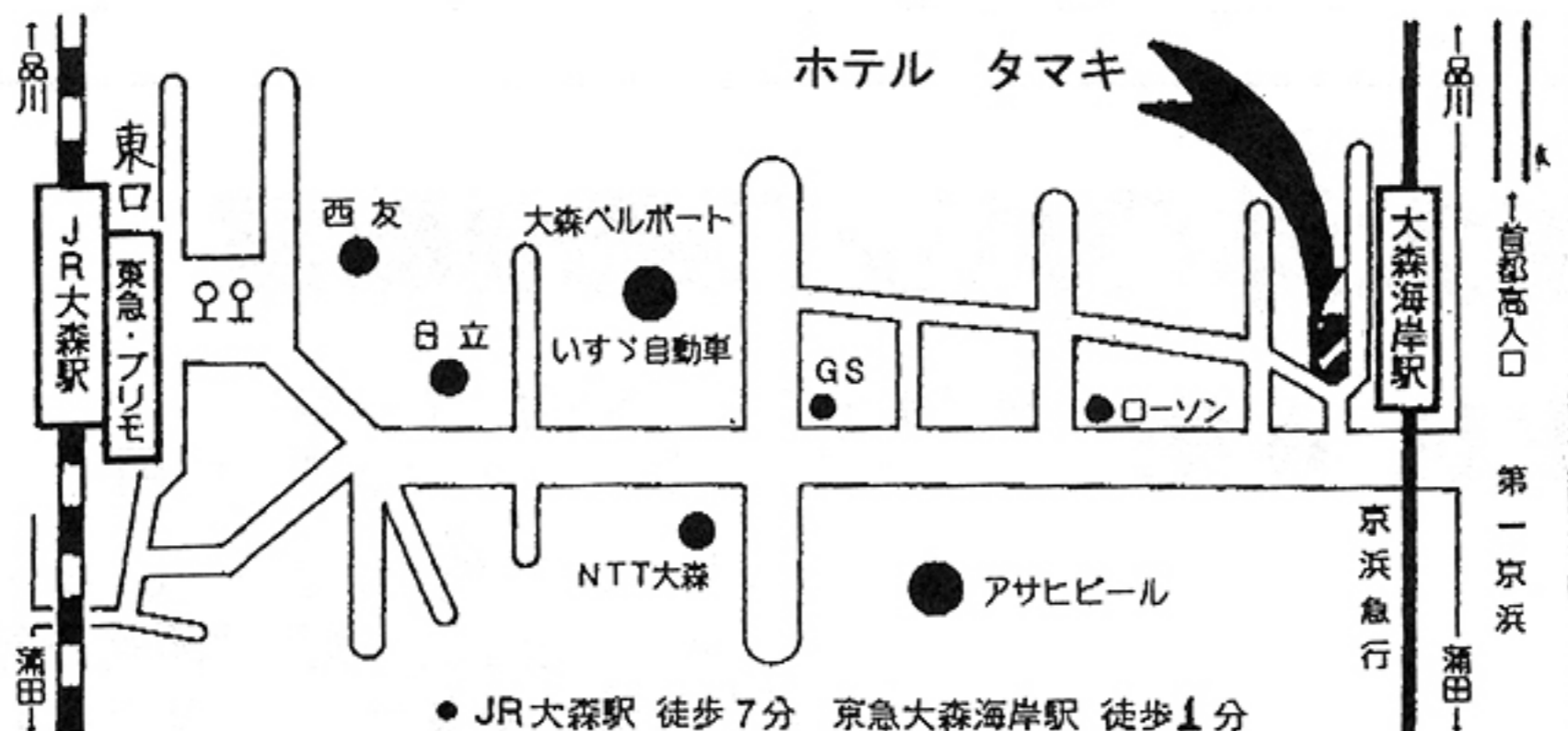


HOTEL TAMAKI

ホテル タマキ

〒140 東京都品川区南大井 3-31-10
TEL03-3766-3011 FAX03-3766-3360

部屋料金 (消費税込)
シングル 9000円～
ツイン 12000円～
料金は前払いになります。



沖縄料理

ゆいまーる

午後5時～午前0時まで
毎週日曜日休

森恵美子

〒121-0813

足立区竹の塚 2-5-14

TEL 03-3860-7533

東武線竹の塚駅から徒歩10分

沖縄料理 **とぅばらーま**

午後5時～午前2時
年中無休、毎日ライブあり

*

毎週日曜日三味線教室

午前11時～午後5時

親盛隆司・公子

〒160 新宿区歌舞伎町1-3-15

ザカテリーナビル1F

TEL03-3200-4639

沖縄居酒屋

蕨んたく

営業時間

午後5時から午前1時まで

砂川浩二

〒114-0032 東京都北区中十条3-3-14

TEL 03-3908-3455

みさきたいよう

美崎太洋のパレス歌謡教室

生徒募集

個人レッスン 親切 ていねい
ピアノ&レーザーカラオケ使用

板橋区板橋 2-68-1

都営三田線板橋区役所前下車1分

TEL 03-5375-3133

いなぐぬ会

伝統工芸や沖縄料理などの講習、その他、2カ月に一度楽しい「いなぐぬ会」を開催しています。
あなたも参加してみませんか？

連絡先 新垣 03-3642-7107

陸 050-201-9004

テトラ商会

SONY SHOP

ビデオ撮影・編集・ビデオコントロールシステム開発

西仲野 栄蔵

東京都杉並区和泉1-9-10

TEL 03-3325-8761

FAX 03-3325-1837

携帯電話 030-812-0321

沖縄チャンプルウ雑貨 喜器



〒114 東京都北区中十条2-7-12

TEL. FAX. 03-3900-4157

沖縄のユニークな陶器や米軍の小物雑貨、アメリカグッズ、食べ物など、まさにチャンプルウな品揃えのお店です。品物だけでなく、お店の雰囲気もチャンプルウ。海辺にできたカラフルなおもちゃ箱みたいな喜器にぜひ遊びに来て、楽しいお土産を見つけてください。

山内歯科医院

歯科医師 山内 勝

〒170 東京都豊島区南大塚3-34-11

サカエヤビル5F

TEL03-3988-1106

野村流古典音楽保存会関東支部

宮城秀夫古典音楽研究所

教師 宮城 秀夫

小林一恵 (新人賞)

田中直樹 (")

嶋崎香理 (")

橋本亮幸 (優秀賞)

牧野晃明 (")

川尻 明 (新人賞)

吉田 努 (")

柏原雄人 (新人賞)

砂川貴之 (")

佐藤正男

設楽由美子

佐々木隆史

江川吉晴

大城朝夫

伊藤孝三郎

宇賀村みどり

山川和子

知念房子

嘉手刈巨樹

越智 環

〒164 東京都中野区弥生町4-10-10

TEL03-3383-6426

(稽古日 毎週日曜日 午前10時～午後4時)

宮城洋子琉球舞踊研究所

教師 宮城 洋子



〒164 東京都中野区弥生町 4-10-10

TEL03-3383-6426

(稽古日/火・土 PM4時～9時)

厚木支部

代稽古 金城茂 (TEL03-3311-3102)

(稽古日/木 PM3時～6時)

